

ゲイライフの
手引き

Guidance of a GAY Life

ゲイライフとはじめ

評論家
伏見憲明
Noriaki Pushimi

あ

あなたがまだ思春期の青年だとして、自分の中に同性への恋愛感情や性的欲望を見出したとしたら、とまどい以上の不安にさいなまれることになるかもしれません。

同性愛を肯定することの敷居が以前に比べて低くなっているとはいえ、あなたは直感的に、それが自分にとって不利に働く事態であることを察知するでしょう。そう、社会も家族も、子供が同性愛者になることを期待していないばかりか、いまだそれを否定的に捉えているからです。

そして、あなた自身も、自分が「ホモ」や「オカマ」のたぐいであることを「よかった!」とはなかなか思えないでしょう。それまで一般的に侮蔑や嫌悪の対象としてイメージされてきた人物像に、自分を重ね合わせることは困難に違いありません。だから、しばらくは、その事実から目を背けようとしたり、いつかそんな「性癖」は治るだろうという希望にすがってみたりもするかもしれない。

ません。

しかし、多くの場合（とくに男性は）、思春期に意識された性的指向は、将来も変更されることはありません。あなたがそれを嫌がろうが、家族が否定しようが、はたまた社会が禁じていようが、あなたは自分が同性愛の欲望を持っている事実からは逃れられないのです。

けれど、同性愛者はさまざまな社会に広く存在していますし、もつと言えば、それは生物界一般に珍しくない現象なのです。だから、同性愛の指向を持つていたことは、あなたの生にたまたま与えられた条件であつて、避けられない人生の出発点だと言えます。

だとしたら、いつまでもそのことを拒絶していても、嘆いていても仕方ないでしょう。その条件を前提として、よりよい人生を歩むための手段を考えていった方が得策だと思いませんか？ それに、どんな人生にだって思い通りにいかないこと

はあるし、勝ち札だけを携えて生まれてくる子供はいません。誰も自分に与えられた条件の中から歩みだし、マイナスをプラスに転換しようと努力しながら生きていくのです。そして、それこそが人生の醍醐味というものでしょう。

もつと視野を広げてみれば、あなたはけっこうしてひとりではありません。あなたと同様の経験をしてきたゲイの仲間たちが世界中に多数いて（人口の数はいろいろでしょう）、あなたにゲイライフという新しいオプションを示してくれています。あなたが旧来の「女性と結婚して、子供を育てて、年老いていく」という価値観から自分を相対化して、そのゲイライフという可能性を受け入れるのなら、いま翳り始めていた人生のビジョンは、また七色の輝きを持って、あなたの目の前に大きく展開されていくでしょう。そのとき、あなたの人生を制限するかのようには思えた同性愛という条件は、一つの契機として捉えられるようにもなるかもしれ

ません。

ここで、ゲイライフを始めるあなたに、改めて言っておこうと思います。同性愛者であることを、善し悪しという倫理的な問題として考えるのはやめること。

たしかにかつて同性愛は、倫理に反する行為として社会的に受け止められてきました。しかし私たちが生まれ持ってきた欲望を実現することは「悪」なのでしょう。多くの異性愛者は、子作りを目的としないうちに性行為を行っていても問題にされず、同性愛は次世代を産みださない行為だから「いけない」のだと非難されます。それは片手落ちというものでしょう。欲望の自己実現は、他人の自由を侵害しないかぎり最大限認められてしかるべき権利です。それを性の自己決定権と言いつ、世界の潮流もそれを認める方向で動いています。もちろん、社会は次世代を育むことで成り立っているシステムですから、私たちがそれにまったく協力しないなら、身勝手と言われてもしょうがありません。しかし、次世代の育成にはさまざまな参加の方法があります(税金の負担や、ボランティア活動や、仕事の上での社会的貢献とか……あるいは私たち自身が子育てをすることだってあるかもしれませ

ん!)。だから、私たちが考えるべきことは、同性愛者が普通に存在できるような社会を構想していくことでしょう。欲望の実現と自由を可能にするようなプランを、積極的に提示していくのです。そしてそれはこれから十分可能なことだと思います。

とはいえ、そういうことを旧世代に属する親などに理解してもらおうのは大変なことかもしれません。いくらあなたが正論を唱えてみたところで、人はそうそう中高年まで抱いてきた価値観を変えようとはしないからです。親として子供に託している夢だつてあるでしょう。そういった齟齬は、ゲイならずとも、多かれ少なかれどこの親子関係にもついてまわるものであるわけです。

つまり、あなたの新しい価値観を親に押し付けることが家族の実際の幸せにつながるとはかぎらない。カミングアウトというのは、相手と自分の関係をよりよいものにしていくためにするものだから、結果として関係を悪化させたら元も子もないのです。だから、まず、大切なのは、あなたが自分のセクシュアリティを肯定すること。同性愛とそれを取り巻く現実についてもっと知ること。そして、時代の限界を背負った親や周囲の

人間に自分を受け入れてもらえる状況を準備していくことでしょう。結果、それが可能と思われる段階になったら、相手に自分の生き方を伝えてみるのもいいし、あるいは、ゲイであることを告げずに良い関係を築く選択をするのもよし。

ある意味で、同性愛者として生きていくには、こちらの側から「大人」になる必要があるということです。親も社会も最初から私たちの生きやすい場所を用意していてくれるわけではないのですから、私たち自身がそれを積極的に作っていくしかない。それがなかったことを恨んでも、否定しても、何も解決しないでしょう。私たちが生きる社会は自分たちが作るのだと納得して、歩を進めていくしかありません。

そして、その「経験」を通じて、私たちの人生はきつと充実したものになると信じます。マイノリティであることを一生懸命生きれば、その過程も大きな財産としてあなたの中に残ります。結局、同性愛というマイナスと思われる条件を、自分の言い訳に使うのか、プラスに転化するのかは、あなた自身の選択と生き方に係っているのです。

親との関係

コピーライター・
ゲイバー経営
福島光生

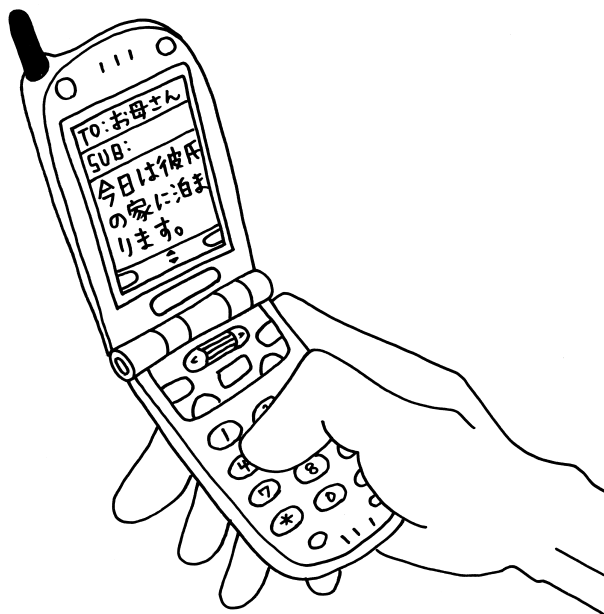
Mitsuo Fukushima

ゲ

イが、自分が「ゲイである」と気づいた時、または受け入れた時、いちばん問題になるのは他者との関わりじゃないだろうか？ 昨日までの自分と、何にも変わっちゃいないのに、実はノンケ／異性愛者の社会から見たらすごく違うことになっちゃってるのだ。他の人にゲイだと告げて、もし疎遠になったとしても、それはそれまでの関係として、いつかは割り切ることができると思うけど、親はそうはいかないね。切ってもきれない関係だし、自分の子をコン

トロールしたい、自分が納得できる存在でいて欲しい、と考えている人だから。その思いの大ききの違いは、親によってそれぞれだろうけど、それだけ愛や執着が深いわけだよ。それにこちらも大切に、大事にしていきたい人だから、良い関係を続けていきたいよね。これからも何十年も付き合いを続けていく人だから、良い関係ならお互いにハッピーじゃない？

自分の子供がどんな学校に行こうと、どんな職業を選ぼうと、それに就いては息子の興味対象や行動を見ていればわかってくるし、少しずつ受け入れ、納得していきけるかもしれないけれど、セクシュアリティは今ままで考えていなかったことだから、もしわかれば親にとっては大ショック。ほとんどの場合、親はストレート（異性愛者）なわけで、ゲイについては知識も浅いし興味もわかない存在だし、場合によっては無意識に差別してるかもしれない。それがよりによって自分の子供が「ゲイである」なんて――



まさに、うちの子に限って、と思いたいはず。親は子供の幸せを思うあまり「人並み」を望んでる。大きく他の人と違わない、無難な道を選んで欲しいんだ。彼らが考えている「人並み」には結婚は欠かせない要素。彼

らは結婚を経験して家庭を作り、子供を持ち、「家庭／家族」の優先順位を高くしてその形を守ってきた人たちなんだからね。そんな価値観を持つている人に「ゲイである」ことをわかってもらおうのは大変だ。ショックを与え

たくなればかりに告げられず、先のばしにしている人がほとんどじゃないかな。何となくわかっているのでは？と期待したりもするけど、親にとつては「うちの子に限って」で、決定的なことを言われなければ心の中で打ち消しているだろうね。

曖昧にしたいという息子の意志があり、親も決定的なことを言われたくないというタイプの人なら、男子の婚姻率がどんどん下がっている現在「打ち明けない」という選択もあるかもしれないけどね。でもそのまま告げずにいると、親は期待をどんどん膨らましていく。そして、たまにはガス抜きのために「あんた結婚はどうするの？好きな人はいないの？」なんていらだちとともに言葉としてぶつけてくるかもしれない。親はどんどん年を取っていく。四十代、五十代のうちなら柔軟性も高く、新しいものを受け入れようという気持ちもあるし、わからないものに対しては納得しようと知識を集めたりすることもできる。し

かし六十〜七十代になってそれを強いるのは難しい。しかもその時に期待は抱えきれないほどに膨らんでいる。そんなバンバンに膨らんでしまったものを「バン」と割ってしまうのはすごくひどいことだと思わない？もし言うなら早い方がいいよね。

「うちの親は頑固で理解できるわけが無い」「精神的に弱くて耐えられない」と思い込んでる人がいる。もちろん親の性格からして言わないで、という選択もあるだろう。だけど言わなければ、親のガス抜きから逃げるためにどんどん疎遠になっちゃうんじゃないかなあ。それとも、言うことを聞いて結婚しちゃう？結婚はゴールでも何でもなくて、それから始まる何十年間かの入り口。しかも自分の人生だけでなく人の人生も巻き込んでいくことになるね。親の願いのために、なんとか形を作ろうとする。そんな愚かなことだけはして欲しくないな。だって親の人生じゃなくて、あなたの人生なんだから。

とにかく親の性格をいちばん知っているのは息子であるあなた自身だから、親の結婚に対する考えとか、息子に対する期待感とか、柔軟性など様子を見ながら関係を作っていくって欲しいな。いちばんまずいのは口うるさい親から遠ざかってしまうこと。コミュニケーションの空白は必ず後で利息がついて返ってくると思うよ。

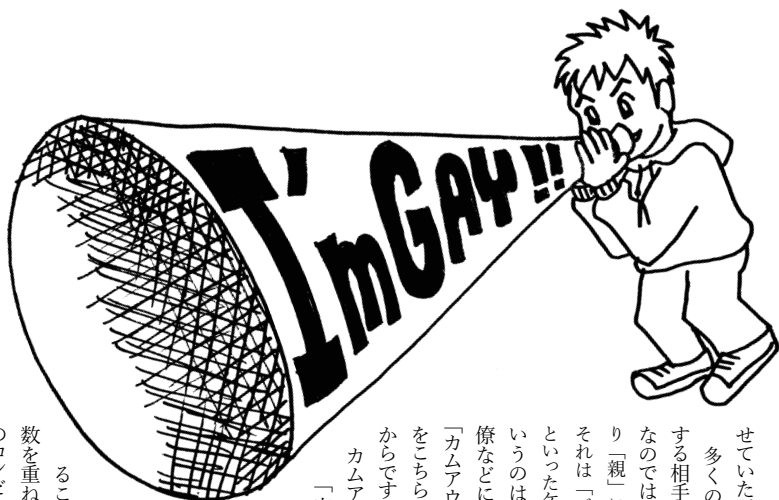
しかし、理解さえしてもらえれば、親は強力な味方だ。誰が何と言おうと、自分の子供は正しい！と味方についてくれる人たちだ。うちの母親なんかは「ウチの息子がゲイで、何か悪いことがありますか？それがイヤならお付き合いしていただかなくても結構です！」と近所の人に息まいてるらしい。それともうかと思うけど、うちの母親は息子と良い関係が築けていてハッピーだと思ってる。あなたの場合は、親とどういう関係を持つのがハッピーなのか、ビジョンを持って、良い関係を作っていく行動を起こそうね。

カミングアウト

物書き
東京都公認大道芸女装
(ドラッグクイーン)
森村明生
Akio Morimura

カ

ミングアウト」に関して、よく話題になるのは「するべきか、するべきでないか」ですが、人それぞれ、性格も考え方も環境も異なりますし、この複雑な社会に生きている以上、何か行動を起せば、必ず誰かと利害がぶつかります。あちらを立てればこちらが立たず。観点を変えれば、どちらも正しく、どちらも間違っているのです。ですからここでは、「是か非か」などという不毛な議論はせず、「カミングアウト」をする際の注意点をいくつか、説明さ



せていただくことにします。

多くのゲイが「最初にカムアウトする相手」に選ぶのは、やはり「友人」なのではないかと思われまふ（いきなり「親」にチャレンジする人もいますが、それは「バレたから」「ものはずみで」といったケースが多いようです。友人というのは、親兄弟や親戚、職場の同僚などに比べれば利害関係が少なく、「カムアウトしても大丈夫さうな相手」をこちらが恣意的に選ぶこともできるからです。

カムアウトを始めて間もない頃は、「実はオレ……ゲイなんだ……」と切り出す、など、とかく堅苦しくなりがちです。最初は仕方がありませんが、それはカムアウトされた相手が深刻にとらえすぎず、しまい、余計な気を遣わせることにもなりかねません。回数を重ね、徐々に慣れてきたら、「あのコンビニの店員（同性）、かわいいよ

ね」といった軽いジャブを会話の中に織り交ぜ、相手に無理矢理悟らせるなど、よりライトなやり方を考えましょう。また、仲の良いグループ内でカムアウトする場合は、「世の中、何でもありだよね」といったタイプの人から攻めていき、「頭の固めな人も、考えを変えざるをえない」状況をつくつていくと、失敗が少ないでしょう（オセロゲームの要領ですね）。

職場でカムアウトする場合も、やり方や注意点はほぼ同じです。しかし職場の同僚というのは、毎日顔を合わせなければならぬ相手です、上下関係も（時には利害関係も）あります。へたをすると、自分の生活に関わる問題になりかねませんから、多少の慎重さをもって臨みましょう。また、人の口にはたてられませんが、友人や同僚にカムアウトした場合、いつの間にか「話した覚えのない相手も知つている」なんて状況になつていることも、よくあります。しかし「いちいちカムアウトする手間が省けて、ラ

クでいいなあ」と前向きに考え、いたずらに他人を恨んだり文句を言ったりするのはやめましょう。

多くのゲイにとって、一番の難関は「親」かもしれません。親というのはたいいて、「自分の子どもが将来、異性と結婚して家庭をもつ」ことに何の疑問も抱いていませんし、あなたがまだ経済的に自立していなければ、親へのカムアウトが、そのまま翌日からの生活に影響しかねないからです。それに、勇気をふりしほつて親にカムアウトしたのに「今さら、何言つてんのよ、アタシやアンタが生まれた時から、とつくに気づいてたわよ」などと言われて拍子抜け、という恵まれたケースもありますが、そうでなければ、カムアウトする方もされる方も、それなりにエネルギーを使います。

親へのカムアウトでもつとも大事なのは、その後のフォローです。できるだけ正確な知識を与え、「親の描いた青写真どおりでなくても、いい恋人や友だちに恵まれ、楽しく生きていく」

ことを、折に触れてきちんと知らせましょう。ちよつとズルいかもしれませんが、親世代にウケの良さそうなゲイ友だちを紹介し、とりあえず安心させる、というのも良い方法です。また、他の問題と混同されやすい状況でのカムアウトも、避けられた方が無難です。ヘタをすると、受験に失敗したのも、仕事が長く続かないのも、時間にルーズなものも、全てゲイであるせいとされかねません。

以上、状況別（カムアウトする相手別に、注意すべき点などを見てまいりました。いずれの場合でも、まず大切なのは、（自分のためにも相手のためにも）「カムアウトする相手を、きちんと選ぶこと」、そして「相手との関係や相手の性格などをしっかり考えた上で、カムアウトをすること」です。

世の中の多くの人は、意外と「他人のことなどどうでもよい」と思っているものです。しかし、時には「カムアウトしたとたん、嫌悪感を示される」なんてこともあるでしょう。それでも、

ひるんではいけません。あなたは別に悪いことをしているわけではないのです。「ええ、私はゲイですが、それが何か？」という態度を崩さないようにしましょう。

メンタルヘルス

精神科医

林直樹

Naoki Hayaishi

同

性愛者のメンタルヘルスを考えるとき、二つの問いがすぐに浮かんでくる。一つ

は同性愛自体が精神医学・心理学的にはどう扱われているのかということ、もう一つは同性愛者の抱えやすいメンタルヘルス上の問題とは、という

ことである。

もしあなたが自分の性的な興味が同性に向いていると気付いたばかりの若い人で、自分と周囲の友人たちとの違いにとまどい、この先の長い人生を不安に感じている人なら、一つ目の問いの答えをまずは知りたいと思うだろう。自分はいったい正常なのか異常なのか。現在のアメリカを中心とする精神医学の中には、一応この答えも用意してある。同性愛はさまざまに変遷を経て、現在の精神医学の診断基準（DSM）からは完全に削除された。すなわち同性愛は「病気」ではありません、したがって「異常」ではありません。

これでひとまずあなたはホッとするかもしれないけれど、現実にはこれはあまり役に立たない。「異常」ではないと言われたからといって、異性愛者が大多数のこの社会であなたが日常的に感じなければならぬ「生きづらさ」が少しは減るわけではない。友達に好きな女性タレントについて聞

かれたときや、親に結婚はまだかと言われたときなど、同性愛者は普通の生活のさまざまな場面でそれを感じなくてはならない。精神医学が何と言おうと、多数であることが「当り前」と見なされる社会で、少数であることはどうしても「異常」とされたり色眼鏡で見られやすい。同性愛者の抱えやすいメンタルヘルス上の問題は、一つにはそういう社会や環境の中で生きていかなければいけないことに由来するだろう。

しかし、ことはそう単純ではない。同性愛者に限らず社会の少数者として生きていくものは、知らず知らずのうちに、前述のような社会の物の見方を自分の中に取り込んでしまう。つまり同性愛者を「不自然」だとみなしたり、「異常」と考えたりする見方を、同性愛者自身も身に付けてしまう。これはむしろ「刷り込まれる」といった方がいいほど、心の深いところで同性愛者の思考や感情に影響を与える。これを心理学では「内在化されたホモ

AGP電話相談ゲイの専門家によるこころからの無料電話相談です。

●AGPこころの相談

電話…03-3319-3203(毎週火曜日夜8時～10時)

●AGP関西こころの相談

電話…06-6325-6864(毎月第1・第3水曜日夜8時～10時)

●AGPからだの相談

電話…03-3319-3203(毎月第1・3水曜日夜9時～11時)

●カミングアウト・サポート相談

電話…03-3319-3203(毎月第1月曜日夜9時～11時)

●AGP(同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議)

についてのお問い合わせは<http://www.agp-online.jp/>まで

フオビア(ホモ嫌悪症)というが、これがまわりの環境以上にやっかいな代物だ。

これは個人においては、自信のなさや自己評価の低さ、罪悪感や自責感という形で現れやすい。これらが強い

と、例えば仕事でも勉強でもあるいは人間関係でも、生きていく以上思うように行かないことはたくさんあるが、そのときについて「どうせ自分は一——」という考えに陥ってしまい、自分の可能性を狭めることにもなりかねない。特に対人関係では、うまくいかないと必要以上に自分を責めたり、逆に相手を切り捨ててしまったり、あるいは相手に対し過剰なまでの配慮を見せたり。対人関係の最たるものは恋愛だから、ここは特に要注意。また同じ同性愛者と関わる時に余計に不安が強くなるから、一度や二度の失敗で「ゲイというものは」と同性愛者を一括りにして、関わりを絶つたり限定しようとする人もいる。そういう括り方がおかしいことは、ちよつと考えたらわかるのに、まだまだこういう声をよく聞く。

向きなわけで、個人個人の心の容れ物の大小や性質はこれとは全然別の話で、千差万別だ。「内在化されたホモフオビア」はあの手この手で同性愛者の心に影響しようとするだろうが、その現れ方はひとりひとり全く違う。そういう意味で同性愛者のかかりやすい精神科の病気というものもないと言える。ただ、誰もがかかる病気になったときに、「内在化されたホモフオビア」はまた病気のありように影響してくるかもしれないが。

だからこれから同性愛者としての一歩を踏み出していこうという人は、まずはこの「内在化されたホモフオビア」のことを覚えておいて欲しい。そしてこれから経験するさまざまな出来事を通して感じたり考えたりすることに、それがどれだけ影響しているのかわからないのか、ときどき心を点検してみたいと思う。逆にそうすることで「内在化されたホモフオビア」に負けない大きな容量の豊かな心を持つことができるのだと思う。そのためにはこ

女性的であること

白

分が女性的な立ち居振る舞いや言葉遣いをしてしまうことで、周囲から奇異な目で見られたり、子供の時分にいじめられた経験を持つゲイの人たちは少なくありません。ゲイの中には明らか

の本を読んだら、街に出ていろんな同性愛者と会い、同性愛者のコミュニティと関わりを持っていくのがいい。「書を捨てて、街に出よう」と言っても、知らない人ばかりだろうけれど。

評論家

伏見憲明

Noriaki Fushimi

に性役割（ジェンダーロール）において女性的な傾向を持つ人たちが存在します。ゲイ/女性的という図式は必ずしも一般化できませんが、筆者の知るかぎり、女性的だと自覚していたり、周りにそう認識されていたりするゲイの人たちの割合は、相当な数に上るようにも思われます。

またそれは日本だけでなく、欧米でも、アジアでも、それぞれのゲイカルチャーの実状を見聞きするに、男性の同性愛者に同様の傾向があることが窺えます。そう、世界的に言っても、女性的な男性（オネエ）という特質が、「ダイコミュニケーション」という共同性の一つの特徴をなしているのです。

なぜ同性に性的指向が向う男性の中に、女性的な性役割に親和的な男性が多数存在するのかは、いまだ解明されていません。幼少期に女っぽいと言われた子供に、将来同性愛の欲望を抱く者が多いことを明かにした研究などを考慮すると、それは生物学的な「原因」が作用しているのかも

しれませんし、あるいは、育てられ方による心理学的な影響が結果しているとも考えられます。どちらにせよ、性的指向が同性愛であることと、性役割が女性的な傾向は、連動して生じる可能性が高い現象だと言いうことはできます。

女性的な性役割への親和性が強くなればなるほど、そして男性であることとの違和感が性別の自己認知にまで関ってくるようになると、その人は「同性愛者」というよりは、「トランスジェンダー」「性同一性障害」というカテゴリーで自身をアイデンティファイするほうが馴染むかもしれません。「同性愛者」というカテゴリーと、「トランスジェンダー」というそれとの間には、はつきりとした線引きがあるわけではなくて、その境界には曖昧な領域が横たわっています（そういう意味では、同性愛と異性愛の境界も同様です。換言すれば、「性」のどういった面にプライオリティを与えて切り取るかによって、その人が同一化する性的属性

は異なってきます。

さて、もしあなたが女性的なゲイだった場合、ゲイとして生きることの困難さは、性的欲望が発現する思春期以前に始まっていたことと想像されます。多数派の男性が体現する性役割からズレてそこにいることは、親兄弟、親戚、近所の人々、幼稚園や学校の先生、友人たちに不安感を与え、彼らからそのありようを変えるべくいろいろな圧力（教育的な配慮？）が加えられることが多いからです。あなたが自分らしくいようとすればするほど、性別二元制による規範の締めつけが厳しい社会では、安住できる居場所は見つけられなかったことでしょう。

しかし、時代は「男らしさ/女らしさ」よりも「自分らしさ」を優先させる考え方を中心に据えるようになってきています。あなたは自分自身の女性的な傾向を否定することも、無理して矯正する必要もありません。たとえ、「オカマ」という言葉を投げかけられたとしても、「女性的な男性

でいいじゃないか」と聞き直つてみればいい（ちなみに、「オカマ」という言葉に過剰に反発するのは、当人が、男性が女性的である様子を侮蔑しているからです。この土俵に乗ることは、女性が男性より劣るという社会の差別構造を自身がなぞることになりません）。

大切なことは、女性的な男性もいれば、男性的な女性もいるということ。社会というのは、性別による区別ではなく、個人の能力や努力によって評価されるべき場だという価値観を、深く理解することでしょう。

しかし、女性的な男性である自分を自己肯定できるようになつても、「オネエ」であるあなたに困難さはまだ付きまとうかも知れません。性愛の場面では、「男らしさ」というキャラは無視できない魅力の一つであるからです。セクシュアリティというのは、異性愛であっても同性愛でも基本的に、それぞれの性別のイメージ（ジェンダーイメージ）をめぐって組み合わせられるゲームであるからです。もちろん



ん、女性的な男性を好むゲイもいないことはないのですが、そういう嗜好は少数派なので、思ったような相手とめぐり合う確率は低いかもしれません。

だとしたら、「オネエ」が性愛の充実を図ろうとするには、外側に現われるものを、自ら、性愛マーケットのコードに合わせたものにするしかありません。ラブゲームで上手くやるボー

ントは、「自分らしさ」を受け入れてもらおうとする前に、入口の部分に相手に望まれるような形に設定しておくことです。恋人探しの機会において、口調を男っぽくしてみるとか、肉体を鍛練して筋肉質のボディを作っておくとか、無精髭をはやしたり、男性的なイケてるファッションを心掛けるとか——やり方はさまざまでしょう。

モチないことを嘆く前に、TPOに合わせて、自分自身のジェンダーイメージを演じることが出来る柔軟さを持つことこそ、賢い「オネエ」を生きる術なのです。

パートナーシップ

コピーライター・
ゲイバー経営
福島光生
Mitsuo Fukushima

『好』 きな人ができたら、その人と画思いになって、良い関係をずつと長く持ち続けたい——ノンケ（異性愛者）の人が結婚に憧れを抱くように、ゲイだって、まるで同じ夢を持つよね。パートナー

がいて、おいしいものを「おいしいね」って言えたり、映画を一緒に観て感想を言い合えたり、旅行に行ったり、犬を飼ったり——それこそ幸せはきつと何倍にも感じられるはずだよ。夢はふくらむ。

たとえば、いつか王子さまが現れて、二人が幸せに暮らし始めたとして。でも、実際のところ、素敵で甘い時間はあまりにも早く過ぎていってしまうんだ。まるで、食べたくても食べなかつたモノを毎日、続けて食べているように。入りたくて仕方なかつた学校や会社にも入った後には「行かなくちゃいけない」存在になっていくように。人は手に入った時の感動を、ずつと持ち続けてはいられないみたいだ。当たり前のごとくに飽きていく生き物なんだね。あれほど良かったセックスだって当たり前のもになっていく。相手を知れば知るほど、その存在はあって当然になって、兄弟のような、家族のようなものになっていく。まるでノンケの夫婦のように、片割れを大

切な存在だと思いがちでも、うとましく感じてしまったりすることもあつたりする。

人は勝手だね。いない時は心から欲しいと思つていたパートナーが面倒に感じてしまうなんて……。そして別れを考えはじめ。彼は自分にとつてびつたりの相手ではないんじゃないか？ もっと素敵な自分に合った相手がいるんじゃないだろうか？

自分にとつてパートナーな人間なんて、どこにもいるはずがない。それはイリュージョン。自分でつくつた幻。そんなものはいくら追いかけても手に入るわけがない。幻を追いつけていけば、別のおいしそうな果実ばかり追いかけていけば、人はずっと同じことを繰り返し続けていなきゃいけないよね。それよりも確実なのは、今、自分を見てくれている相手、そして二人で過ごしてきた時間。

若くて付き合いを始めたばかりの人たちは、セックスのなくなつてしまつた関係なんて便宜上、付き合つて

いるだけで、もう本当の関係じゃない、なんて思ふかもしれないけど、あなたの二両親も含めて、世の中のすべての長いカップルはセックスがなくなつても関係を続けている。それこそが恋愛を超えたパートナーシップとよべるものなんだと思う。恋愛っていうのは性別がどうであれ、セキシュアリティがどうであれ『永水く』とか『永遠に』というのは存在しない。恋愛が続くのではなく、関係が続くんだ。恋愛関係の始まりや同棲、結婚なんっていうのはゴールでも何でもない。それは単なるポイントにすぎなくて、それが始まつてからの長い長い歳月の積み重ねこそが大事なことで、パートナーシップを育てているというか、お互いが家族として成長していつている過程なんだと思うんだ。

まだ、あなたが恋愛の相手も見つかつていない状態で、恋愛や付き合い、パートナーシップというものに期待や憧れをたくさん描いているんだつたら、まるでピンとこない話かもしれないけ

れど、続けていくことはたくさん壁に突き当たることだと思つていた方がいい。相手に対する「飽き」との戦いだったり、お互いに芽生える浮気、ころや別のセックスの誘惑、大きく見えてくる相手の欠点……。恋に落ちて、恋愛を始めることは、驚くほど簡単なことだったりするけど、それを続け、相手を信頼し、パートナーシップを築いていくことはすくなく難しいことなんだ。

大切なのは恋愛を始めた時に、相手に「別れない」と告げ、相手にもそう思つてもらふこと。同棲したり養子縁組したほうがより強固な関係がつくれると思うなら、熱いうちにさつさと行動に移そう。もちろん人は、いつどうなるか誰にもわからないけれど、いつも選択肢に「別れ」というものがチラついていると人はそれを選んだしまう。誰でも重たく面倒になつたものは嫌だし、投げ出した方が簡単だと思つちゃうしね。でも、それを何回も続けていると新しい恋愛と別離を繰

り返す『恋愛中毒者』になつちゃうと思うなあ。別れのほろ苦い痛みを恋愛の高揚した気持ちで癒し、そのウキウキ感を追い求めるような……。あなたがパートナーシップという、

形はないけど強固なものが欲しいなら、恋愛とは対極にあるような努力というものもセットになつていと知つて欲しいな。そしてぜひ手に入れて欲しい。相手のいる人生は、やはりとても安心で、幸せなことだよ。何か、あるいは何十年か経つて、相手がいる人生で本当によかつたと思える人生は、すごくハッピーだと思わない？ 簡単に手に入るものではないからこそ、その充実感があると思うよ。

ゲイどうしの友情

物書き
東京都公認大道芸女装
(ドラァグクイーン)
森村明生
Akio Morimura

「ゲイ」

イの友情はオブラートよりも薄い。水に入れると溶けてしまう」ということわざもあるくらい(うそです)、ゲイどうしの友情はとかく「はかないもの」「もろいもの」と思われがちです。確かに、ゲイの友だちの多くは「学校や会社などで日常的に(そして半強制的に)会わざるをえない相手」ではありませんが、(特にその友情が、コミュニティの中で育まれたものでなければ)ちょっと価値観が違ったり口ゲンカをしたりしただけで、「ハイ、それまでよ」となっ

てしまうこともあるでしょう。「コミュニティがそれほど大きくない」「恋の相手も恋のライバルも同性である」といった環境的要因から、人間関係が複雑になりやすいのも否めません。

しかし一方で、「ゲイどうしの友人関係」は、実にさまざまな可能性に満ちています。「ゲイとして楽しく建設的な生活を送る上で、ゲイ友だちの存在は不可欠である」と言っても、過言ではないでしょう。この項では、そんなゲイどうしの友情について、考えてみたいと思います。

友情を育むのに、セクシュアリティなど基本的には関係ありません。「ゲイの気持ちは、どうせノンケにはわからないしい」などと、いたずらに壁を作る必要はないでしょう。しかしゲイにとつて、同じゲイの友だちが、さまざまな経験や悩みを共有できる、貴重な存在であることは確かです。あなたが周囲の人にカムアウトしていない場合、「あの男、イケてるッ」「ええッ? アンタ、許容範囲広いねえ。いやあ、

うらやましいわ」といった会話を交わし、「彼氏」を「彼女」と言いかえるだの、「いずれは結婚するつもりだ」と言っておくのだといった作業抜きに、恋愛や人生設計について素直に語りあえる相手は、ゲイ友だちをおいて、他にはないからです。

もちろん、あなたがすでにカムアウト済みで、「男チエックぐらい、ノンケ女子とガンガンやってるよッ」という場合でも、ゲイ友だちの大切さに変わりはありません。ノンケの多くは「やがて結婚し、どうしても「家庭中心」になってしまいがちだからです。「結婚せず、子供も作らない」生き方を選ぶゲイが増えている昨今、老後について語りあえる(そして、共に余生を築しめるかもしれない)仲間がいる、というのは、ずいぶん心強いものがあります。

と、ここまで読んで、「フン、そんなの、パートナーがいればいいじゃんッ」と考える、傲慢な方がいらっしやるかもしれませんが……。全てのゲイ

が、男に縁があると思つたら、大間違いです。それに、パートナーがいる人にとつても、恐らく友だちは大切……: なはずです。パートナーとの関係に疲れた時、あるいは関係が壊れた時、相談に乗ってくれたり慰めてくれたりするのには、やはり友だちなのです。から、「周りの人たちに支えられて、長続きしているカップル」というのも、結構いらないでしょうか(周囲の介入によつて、余計に話がややこしくなることも、ままありますが)。

このように、ゲイにとつてのゲイの友だち(ひいてはゲイコミュニティ)は、「地縁や血縁にかわりうるもの」であると言つてよいかもしれません。しかも、その気になれば、「恋人」だの「夫婦」だの「家族」だのといった枠組みや制度に縛られず、いろいろな関係づくりにチャレンジすることができず、セクシュアリティが同じというだけで、世代も職業も違う人と、フラットな人間関係を築くこともできます。せつかくですから、たくさんの人と知り合

ほとんどノーリスクでできるように
なったのだ。

ノンケの男女からしてみると、イン
ターネットとは、これまで現実社会に
あったものが、ただ単にパソコン上で
できるようになっただけのツールに過
ぎない。しかし、ゲイにとつては、こ
れまでの現実社会ではできなかったこ
とが可能になったという点で、その利
用価値は比較にならないくらい大き
い。今やインターネットは、ゲイライ
フをより豊かなものにするための必須
アイテムとして、誰もが認めるまで
になった。ここではインターネットを快
適に活用するための方法と、その可
能性やリスクについて紹介させていた
だこうと思う。

ネット上には無数のゲイサイトが
存在している。その中から自分にとつ
て価値ある情報源を見つけ出すには、
どのようなコンテンツがネット上に存
在しているかを把握しておく必要が
ある。しかし、そのひとつひとつを

Yahoo!「*1」やgoogle「*2」といった
検索サイトから見つけようとするとするの
は、不可能に近い。

そこで活用したいのは、CBase「*3」
やGress Index「*4」など、ゲイの作
者によってカスタマイズされた総合リ
ンク集だ。とくにCBaseは膨大な情報
量で、ゲイサイトへのリンクだけでな
く、所在地や電話番号、関連施設な
どの詳細情報までカバーされているた
め、最小限の時間で目的の情報をさ
がしだすことができる。Index版もあ
り、携帯と連携させた機能も充実し
ている。Gress Indexは、独自のアイ
コンによりそれぞれのホームページが
評価されていて、アイコンの信頼性も
高い。レイアウトは全体的にわかりや
すく、初心者でも扱いやすいように工
夫されている。

書籍では、セクシユアル・マイノリ
ティ向けのウェブサイトを携帯サイト
を網羅したCrProject「*5」発行の
[RINO]というインターネットガイド
シリーズが出ているので、一冊用意し



写真/佐藤智砂

ておくと重宝するだろう。

近年では、キングギドラの同性愛差別CDの回収騒動やオランダの同性結婚制度など、ゲイサイト以外の

まったく根拠のないデマ情報も多いが、判断材料のひとつとしては十分に役立つ情報源。信頼性の度合いをわかった上で、臨機応変に活用しよう。

ろうか？ 答えは簡単。「自分でつくってみるのが手取り早い。個人でホームページを持つ場合は、ジオシティーズ[*11]や携帯サイト用の魔法のi

掲載できるというメリットがある。順調にアクセス数を伸ばせば、広告費で管理コストを稼ぎ出すこともそれほど難しい話ではない。

ニュースサイトで、同性愛関連の話題が大きく報じられることがめずらしくなくなったが、このような旬な話題をチェックするときは、2ちゃんねる

インターネットをあまりやらない、あるいは、やる時間がないという人は、メールマガジンを利用する手もある。これはゲイやセクシュアリティ関連の

べースを借りるのが一般的。多少の出版費をしてもいいなら、初めから独自ドメインを取得する選択肢もある。

個人サイトでバナー広告を掲載する方法は、サイトオーナーとECマーチャント（広告主）を仲介してくれる

の同性愛板[*6]か、バディジェービー[*7]を利用すると便利。とくに2ちゃんねるは、新しい情報がリアルタイムで次々と追加されていくので、

サービスで、ほとんどの場合、購読料は無料だ。主なメールマガジンとしては、ゲイ向けのSTAGMAILMAG[*8]や、レズビアンとゲイを対象にしたMILK[*9]などがある。数は少ないが、個人規模で発行しているケース

住所や氏名などの公開を義務づけたICANN (Internet Corporation Assigned Names and Numbers) ドメイン名、IPアドレス等を民間主導でグローバルに調整する組織)の規定が、ゲイ

りエイト型(成功報酬に応じて広告収入が得られるタイプ)と、バリュークリック[*16]などのクリック保証型(クリックされた数に応じて広告収入が得られるタイプ)に大別される。いずれも登録

手できることもある。以前に「週刊現代」(講談社)が、ゲイビデオに出演していた東京六大学リーグの選手

についての記事を掲載した際、誌面では具体的な選手名は伏せられていたのに、2ちゃんねるではその日のうちに、選手名や大学名はもちろん、選

も出てきたので、あきらめていた人は再検討してみてもいいかがだろうか。

自由を選んで、提携を申し込むことができる。一方、クリック保証型は全体的に審査が厳しく、ゲイを対象に

の顔写真や出演していたビデオのタイトル、モザイク入りのパッケージ

存在するゲイサイトに一通り触れてみて、自分が欲しいと思うコンテンツが見つからない場合はどうしたらいいだ

場合、無料のホームページサービスは通常許されていない独自の広告を

掲載できるというメリットがある。順調にアクセス数を伸ばせば、広告費で管理コストを稼ぎ出すこともそれほど難しい話ではない。

画像まで公開されてしまった。

見つかからない場合はどうしたらいいだ

場合、無料のホームページサービスで

掲載できるというメリットがある。順調にアクセス数を伸ばせば、広告費で管理コストを稼ぎ出すこともそれほど難しい話ではない。

掲示板の書き込みは、誹謗中傷や

見つかからない場合はどうしたらいいだ

場合、無料のホームページサービスで

掲載できるというメリットがある。順調にアクセス数を伸ばせば、広告費で管理コストを稼ぎ出すこともそれほど難しい話ではない。

URL一覧

●本文中で紹介したサイト

- [*1] Yahoo!.....<http://www.yahoo.co.jp/>
- [*2] google.....<http://www.google.co.jp/>
- [*3] G.Base.....<http://www.stag.jp/xc/gbase>
- [*4] Gpress Index.....<http://www.gpress.com/>
- [*5] G-Project社.....<http://www.gproject.com/>
- [*6] 2ちゃんねるの同性愛板.....<http://love3.2ch.net/gay/ gay/>
- [*7] バディジェービー.....<http://www.badi.jp/>
- [*8] STAG MAILMAG.....<http://www.stag.jp/xc/maga>
- [*9] MILK.....<http://www.milkjapan.com/>
- [*10] まくまぐ.....<http://www.mag2.com/>
- [*11] ジオシティーズ.....<http://geocities.yahoo.co.jp/>
- [*12] 魔法のらんど.....<http://ip.tosp.co.jp/>
- [*13] ミクストメディア.....<http://www.mixedmedia.net/>
- [*14] バリュココマース.....<http://www.valuecommerce.ne.jp/>
- [*15] エーハチネット.....<http://www.a8.net/>
- [*16] バリュクリック.....<http://ldm.livedoor.jp/>
- [*17] METROPOLE21.....<http://club21.org/main/city/city.htm>
- [*18] hotmail.....<http://www.hotmail.com/>
- [*19] インフォシーク転送メール.....<http://www.anet.ne.jp/>
- [*20] ゲイ・パッシングに関する情報サイト.....なし
- [*21] インターネットの犯罪・被害追跡審査WEB110.....<http://www.web110.com/>

●その他厳選ゲイサイト

- All About Japan.....<http://allabout.co.jp/relationship/homosexual/>
- MEN'S NET JAPAN.....<http://www.mensnet.jp/>
- TWINKLE ANGEL.....<http://www.twinkleangel.com/>
- すこたん企画.....<http://www.sukotan.com/>
- ソーシャル・ネットワークキングサイト mixi.....<http://mixi.jp/>

したサイトはほとんど審査は通らないのが現状のようだ。

日本のゲイサイトは一見、数が多いように思えるかもしれないが、便利さを実感できるコンテンツはまだ不足している。もしも今のインターネットに物足りなさを感じていたら、すぐにもホームページ作りを始めてみよう。ホームページにこだわらずに、METROPOLE21[*17]といったサイトを利用して自分だけの掲示板を作ってみるだけでも、ネットライフが一層楽しいものになるはずだ。

最後に、インターネット上の出会い系サイトの利用方法とその危険性について説明したい。

まず、出会い系サイトを利用するために必要なのは連絡先となるメールアドレスだ。これはプロバイダー等から提供されたものをそのまま使用するのとはできるだけ避けよう。Hotmail[*18]や、インフォシーク転送メール[*19]などの無料メールサービスを使っ

て、出会い系サイト専用のメールアドレスを一つ用意するようにしたい。

そして、専用のメールアドレスには、身元を特定できる自宅の住所や電話番号等の個人情報と絶対に結び付けないように注意する。例えば、レンタルビデオ屋さんの入会申込欄にメールアドレスの記入欄があっても、このような場合はプロバイダーから提供されているアドレスの方を書くようにしよう。

基本的に出会い系サイトの掲示板などに書き込んだメッセージはすべて、検索エンジンを通して他人に検索される可能性があることを覚えておこう。メールアドレスは世界にひとつしか存在しないため、あなたのメールアドレスを知っている人が、そのメールアドレスでキーワード検索することによって、あなたがいつ、どの掲示板に、どのような発言をしたかを簡単に調べることができるのだ。電話番号も同様で、携帯だからといって気軽に書き込んでみると、あなたの携帯番号を

知っている人が、あなたの携帯の番号

でキーワード検索することで、過去の書き込みが簡単に見られてしまうことももなりかねない。ネットに公開される個人情報には十分注意したい。

実際に顔を合わせていないネット上の相手に対して、公開しても問題がない個人情報、身長・体型・趣味などの簡単な自己紹介と、出会い系サイト専用で作成したメールアドレスだけに思っておいて間違いない。メールで話した印象が良いからと言って、自宅の住所や本名などをおしえるのは、いかなる理由があっても避けるべき。「写真を送りたい」とか「ビデオを送りたい」などといった住所を聞きだそうとするようなら、相手にしないほうが無難である。信頼できる相手かどうかを判断するには、ゲイバーやゲイ雑誌、ゲイと噂されている芸能人などの話題について、いくつか訊ねてみるといい。あまりにゲイやコミュニティの話題に疎いようであれば、ゲイの振りをしたネカマの可

能性が高いことになる。

また、掲示板に公開されているメールアドレスを悪用して、ジャンクメールを送りつけてくる業者もいる。こういった見知らぬ相手からのメールには、「返事を出さない」ことが最大の防御策。「今後メール受信を希望しない人は返送してください」といった内容が書かれていることがあるが、これにうっかり返信してしまうと、メールを受信したことを相手側に知らせてしまう結果になるので、我慢してでも無視し続けよう。中には「無修正ゲイビデオを売ります。希望者は住所をお伝えください」などという内容のダイレクトメールを不特定多数に送りつけ、住所を教えてきた相手に対して、「ゲイであることをばらされたくなければ金を振り込め」といったメールが届いたという極めて悪質なケースも起こっている。万一、これらの被害にあった場合は警察か、または、ゲイ・パッシングに関する情報サイト「*20」やインターネットの犯罪・被害追跡審査

WEB10「*21」などに、早めに相談していただきたい。

ゲイバー
コピーライター・
ゲイバー経営
福島光生
Mitsuo Fukushima

ゲ

イのコミュニティのなかでもバーほど解りにくいものはないんじゃないだろうか？ いったいどんな所なのか？ 何が楽しくて行くのか？

「ゲイバーっていうのは女装をした人がいて、ホステスさんのように接待してショーを見せてくれるところだろうと思ってきました」と、一年くらい前

に自分がゲイであることを受け入れて、その後うちの店の常連になってくれた人が言っていた。いや、それも間違いないんだけど、そういうタイプのバーで、ほとんどがノンケの人がお客さんというタイプのお店のことを僕たちは「観光バー」とよんでいる。その他のほとんどのバーはゲイが普段の格好をして、お客さんも会社帰りなど普通の格好をしてごく自然にお酒を飲んで話をしている場所なんだ。ゲイがやっててゲイが来るから「ゲイバー」というわけ。そしてゲイバーでもノンケがたくさん通ってくるお店もたくさんある。これは看板だけじゃわからないから、人の話やゲイ雑誌で情報を集めてもらおうしかないんだ。

それにわからないのがゲイバーって何が楽しくて行くんだろう？ お酒を飲むのはそんなに楽しい？ 居酒屋に行ったら良いのになぜゲイバーなんだろう？ 答えは、ゲイと知り合うために、友だちをつくり、またそ

WELCOME!

会員制
BAR



の友だちに会うための場所だ、と言いつけてしまおう。ノンケの社会ではゲイはノンケの振りをすることを強いられる。そんな仮面を脱いでゲイだけに囲まれて、素顔の自分をさらけ出せ

る所がゲイバーなんだね。お酒はちょっとした会話の潤滑油というだけで、実はお酒なんか飲まなくても大丈夫なんだ。事実、うちの店にはコーヒーや紅茶を飲みに来る人たちもた

くさんいるしね。僕自身、お酒が飲めるわけでもなく、何も知らない頃は夜遅く、新宿二丁目に集まる人はかなり変な人たちの集団であると決めつけていて、

ハッテン場に行っているも二丁目には近づこうとしなかった。よく知りもしない社会にドロドロとしたものを感じ、意味もなく嫌悪感を持っていたし、そういう所に入り込んでいる人は溺れているんじゃないかとまで思っていた。でも、同世代の友だちができてから、そんなイメージはガラガラと崩れ、大好きな場所になった。なんとなく後ろめたさを持ちながらハッテン場に通って、ゲイであることを肯定できなかった僕にとって、同性が好きであることが当たり前のように話すみんながまぶしかった。自分もそうなりたいたいと思ひ、通いはじめたら、すんなり溶け込めることができた。自分がゲイであることを受け入れ、すんなりと馴染んでいったんだ。ノンケと違い、何でも包み隠さず話せる彼らの優先順位はどんどん上がり、友だちとしてかけがえのないものになった。僕はそこでセックスと関係なく、自分を開放でき、安らぎを得る方法を二丁目で行き入れたんだ。

同世代のゲイだけでなく、バーでは色々な人と知り合うことができる。ゲイというだけで年齢も、職業も違う人たちが知り合いになり友達にな

ることができるとだ。ノンケの世界では望んでも得にくいものが、ここでは簡単に手に入る。その人間関係や話は必ず自分のためになると思うよ。

そして忘れてはならないのはセックスの対象とも知り合うことができること！ ハッテン場では裸は見られるけれど、その人の内面までは見ることができない。バーに行く人もハッテン場に行くかもしれないけど、それは完全にお遊びモードというかセックスモード。普段のその人を知ることが難しいよね。またインターネットでも人とは知り合えるけれど、キーボードとディスプレイを通してではその人がよくわからない。バーでは何をしている人なのか、どんな声で話す人なのか、何が好きなのか。裸にはならないけれどもっとその人の内面まで知ることができ、ちゃんと恋愛対象としての人間

像を浮き彫りにしてくれる。逆に言うと裸よりもっと内側のその人が見えてくるかもしれない。

ハッテン場やインターネットで人と知り合い、セックスは手に入るけれど、その積み重ねに疑問や虚しさを感じているなら、もっとちゃんとした人間関係を作ってみようよ。ゲイバーに出てきて、友だちさえできれば、必ず今とは違う、もっとハッピーな自分を発見することができるはず。バーに来るとセックス以外の「ゲイであること

のメリット」みたいなものが必ず見つかっていくと思うよ。もしゲイバーにネガティブなイメージを持っているなら、一日も早くバーの真実の姿を見て、感じて、消去して欲しいな。仕事が終わったらハッテン場、あるいは家に帰ってキーボード、という生活にバーというものをはきまわと、ゲイライフはもっと素敵で豊かなものになるよ。

クラブシーン

物書き
東京都公認大道芸女装
(ドラッグクイーン)
森村明生
Akio Morimura

ク

「ラブ」は多くのゲイにとって、重要な社交場であり、出会いの場であり、アミューズメントスペースです。「バーには一度も行ったことがないけど、クラブなら週に三度は行く」という人も、結構いるのではないのでしょうか。

ゲイをメインターゲットとしたクラブ（というより、ディスコ）は、80年代初頭から日本にも存在していましたが、89年、芝浦の大バコでゲイナイトが開催されたのをきっかけに、「クラブ人口」は一気に拡大しました。その

後、極集中的だった「ゲイナイト」は、バブル経済の成熟・崩壊にともなう大バコの閉鎖や小バコの乱立によって、徐々に分散・小規模化し、今に至っています。この項では、そんな現状を軽く踏まえつつ、「クラブ」での遊び方を紹介させていただきます。

クラブで遊ぶゲイたちの目的は、それぞれ異なります。純粋に「踊るのが好きだから」という人もいれば、「好きなDJのプレイが聴きたいから」という人もいますし、「ゴーゴーボーイやドラッグクイーンのショウ目当て」という人もいます。また「クラブ」という空間の、非日常的な感じが好き」という人もいれば、「ゲイナイトで、たくさんゲイと一緒に踊っていると、仲間意識が感じられて楽しい」という人もいます。「男探し」を目的に、ねるとん（出会い系イベントを渡り歩いている人もいます。そして、そんなニーズの多様化に 대응するように、現在、実にさまざま

クラブイベントが行われています。新宿二目のいくつかのクラブでは、毎日のように(といっても、火曜・水曜あたりはさすがに少ないのですが)何らかのゲイ関係のイベントをやっていますし、大バコでのゲイナイトも、頻繁に開催されています。イベントの内容も、

男女ミックスのものやメンオンリーのもの、「オシャレ」をコンセプトにしたものや「気楽に楽しめる」雰囲気のもの、DJのプレイが売りのものやシヨウをメインにしたもの、と多岐にわたっていますし、「ねるとん」をメインに据えたものだと、「サラ」リー

マンの方とおよびリーマン好きな方をターゲットにしたもの」だの「背の低い方(チビ)およびチビ好きな方をターゲットにしたもの」だの、果ては細分化されています。また、少し前までは大都市圏に集中していた感のあるゲイナイトですが、最近ではさま

ざまな都市で開催されるようになっていきました。各イベントの内容は、ゲイ雑誌の広告やクラブに置いてあるフライヤー、ホームページなどでチェックできますので、しっかり情報を仕入れた上で(さもないと、「自分はやせていてデブ好きで



もないのに、うっかりデブ専ナイトに行ってしまう」などという愚を犯すことにならねません、その時々気分や目的に応じて、遊びに行くイベントを決めましょう。「学生による、学生のため」のクラブイベント」というのもありますから、もしあなたが学生で、「クラブに行く勇気がない」ようであれば、そんな（同世代が集まる）イベントに行ってみると、良いかもしれません。

さて、遊びに行くイベントが決まったら、いよいよ準備です。冒頭にも書いたように、クラブは一種の社交場みなそれなりに、「自分を良く見せる」術を心得ていたりしますから、人目が気になるようであれば、服装や髪型には多少気を遣った方が良いでしょう。でも、無理をしすぎると「あの人、気合入りすぎイ」などと言われちゃいますので、注意が必要です。あなたが汗っかきなら、できるだけ着脱自在な格好を選んだ方が良いでしょう。

一旦クラブに入ったら、後は食欲に

楽しみましょう。音の洪水に身体を任せ、踊りまくるもよし、ゴーゴーやドラッグのショウを楽しむもよし、恋人を探すもよし。最初のうちはどうしても自意識過剰になり、「あの人、アタシを見るッ」だの「アタシの踊り方、ヘンじゃないかしら」だの、いろいろ余計なことを考えてしまうかわれるのも、クラブならではの醍醐味といえましょう。

ただ、大音量で音楽が流れる「クラブ」という空間は、内容の濃い会話を交わすには不向きです。人生や社会問題について語るのはやめましょう。また、クラブには、(ドラッグなどの)リスクを伴う誘惑もありますし、オルナイトで踊れば体力も消耗します。理性和相談しながら、賢く遊びましょう。



『女性らしさ』の象徴である「化粧」を大げさにすることで、『らしさ』のバカらしさを笑い飛ばしているのだ」という人もいます。

しかし、多くのドラッグクイーンは、そんなことは考えていない……ように思われます。みな、(ドラッグを始めた) 動機やきっかけは「目立ちたい」だったり「変身したい」だったり「何となくなりゆきで」だったりしますし、それで良いのでしょうか。

「ドラッグクイーン」の一般的なイメージは、「派手なメイクをし、女装して、クラブイベントで踊ったり、リップシンク(口バク)のショウをやったりする人」というものです。「ドラッグ」は「薬」(ドラッグ)ではなく、「引きずる」という意味の英単語からきており、「引きずるほど裾の長いドレスを着ている」さらには『女』と『男』の境界線を引きずって、わけのわからないものにしてしまふ」というご大層な意味合いまでこめられているようです。

一口に「ドラッグクイーン」といっても、いろいろなタイプがあります。とにかく衣装もちで「二度着たもの」は二度と着ないわツ」と豪語する人もいれば、「それはお前の第二の皮膚カツ」と周りが言いたくなるぐらい、毎回同じ衣装を着ている人もいます。一流のドラッグはショウなんてやらない、とうそぶく人もいれば、メイクや衣装は二の次で、ショウに命をかけている人もいます。キャラクター別に見ても、「キレイ系」と言われる人から「ヨゴレ系」と言われる人までさまざま、

ショウの内容も、「アート系」と言われるものから「お笑い系」のものまでさまざまです。

ですから、「ドラアグクイーン」の楽しみ方」も、人によって異なります。単純に「笑い」を求めて、お笑い系ドラアグのイベントに足繁く通う人もいれば、「衣装の参考になるから」と、キレイ系ドラアグの追っかけをしている、服飾関係の学生さんもあります。「クラブであんまり男はつきり見るとモノ欲しげだと思われそうだし、女装がいれば、とりあえず目のやりばに困らなくてすむからねエ」という、シャイな人もいます。ドラアグ本人の思惑などとは関係なく、それぞれが自分のニーズに合わせて、自分なりに楽しめば良いのです。

ただ、「ドラアグ」の、ニセモノならではおかしさがちゃんとかつていれば良いのですが、「女装である」というだけで、それほど大したものでもないパフォーマンスを底上げ評価してしまふと、あなた自身が「物事がわかつて

いない人」と評価されてしまう恐れがありますから、気をつけましょう。また、ドラアグクイーンは、それだけではとても食べてはいけない、ほかない仕事です。あまり多くを期待しすぎるのは、可哀想なのでやめましょう。次に、「ドラアグクイーンになるに

はどうしたらよいか」ですが……。何も、特別なことは必要ありません。(肌荒れさえ気にならなければ) 百円均一ショップでメイク道具を揃え、東〇ハズあたりでツラあるいは被りものを買い、通販などでデカイサイズのヒールを取り寄せ、自分の体型に合う衣

装を手に入れる。それだけで十分です。最初は抵抗があるかもしれませんが、一度やってみれば、そんな大したものではないということがわかるでしょう。さらに「アタシったら、いい歳こいて(あるいは若い身空で)何やってんだか」と自分を笑い飛ばす余裕



写真上/西村知巳 下/TLGP2002実行委員会



があればベターです。ただ「人にシヨウを見せる」となると、少しは気構えが必要ですし、それなりに体力・気力も必要です。

また「ドラアグで、ゲイコミュニティの有名人になろう」などという、誤った野望を抱いてしまった方は、自分なりのキャラクターを打ち立てるなり、何かしら特技を身につけるなりして、定期的なイベントに出演し、名前と顔を売りましょう。あらかた開発され尽くした感がありますが、まだどこかにニツチな市場が残っている……：……かもしれません。地道に頑張ってください。

最後に、少し堅い話になりますが、「ドラアグクイーン」女性蔑視ではないか」という方が、時々いらつしやいます。その気持ちもわかりますが、間違えてはいけません。本当に問題とすべきなのは、「女性のパロディ」女性をさげすんでいる」という感覚を育んだ、社会の構造自体なのです。冒頭に書いたように、ドラアグは「ら

しさ」のバカらしさを笑い飛ばす強力な武器でもあります。敵は同じなのですから、共に手をたずさえ、楽しくやりましょう。

ボディ・イメージ
& フィットネス

コピーライター・
ゲイバー経営
福島光生

Mitsuo Fukushima

あ

なにはどんな外見の人です
か？そして、その自分は
好きですか？人は誰だっ

て自分の容姿のすべてを受け入れて
るわけじゃない。背が高いとか低いと
か、ヤセているとか太っているとか、
毛深いか薄いか、顔のことに至っ

てはパーツの細部に渡ってまでこだ
わつたりして、どこまで行ってもキリ
がない。顔のことはひとまず置いてお
いて、ここでは人の印象というのを考
えてみようよ。

ホントに大雑把に2つに男のタイプ
を分けてしまうと「きれいでカワイイ
美少年タイプ」と「がっちりして男ら
しい野郎タイプ」に別れると思う。あ
なたはいつたいどっち寄りなのかな
と、毛穴の数の多い少ないはちょっと
別に考える。人はどうしても自分の
好みの人になろうと頑張る。ヤセた身
体がシムミだというひとはヤセたいと
いつも思っているし、野郎っぽいのが
好きな人は髪を短く刈りたがったり
坊主頭にしてみたりする。選ぶ服も
自分が「こう見られたい」ということ
を考えて選択してしまう。自分が好
みの人に近づいていることが自分の心
の平穩であるし、納得できることなの
だ。今、そこにいるあなたは、そんな
小さな選択の積み重ねの結果だと

思っている。

しかし「こう見られたい自分」と「こ
うである自分」が分離してしまってい
ない？野郎っぽく、あるいは美少
年っぽく見られたら自分の気持ち
ちゃんと表現できてる？あ、こんな
のもいいな、という色々な要素を集め
てきて、ちぐはぐなものになってな
い？毛深くてがっちりした人は細
く見える服を選んだり長い髪をして
いるより、男らしさを強調した「野
郎タイプ」に割り切った方が素敵に
見えると思うし、細い体型の人は「美
少年タイプ」を強調した方がきつと
自然に見える。ここで問題になるのが
心の平穩が保てるかどうか、なのだ。
長い髪が好きなのに刈り上げてしま
うことは抵抗があるだろうし、毛
深い自分がイヤなのに髭を生やすこ
とはとてもイヤだろう。でも中途半
端でちぐはぐな印象よりも「こうで
ある」というものを強調して見せた方
がぜったいに成功する。自分が欠点だ
と思っ込んでいることを強調した方が

モテるのだ。言ってみれば「売り方」のセルフプロデュース。最初は抵抗があってもモテるようになれば自分をどんどん受け入れられるようになるだろうし、新しい自分が面白くなって自信のある振る舞いができるようになると思うよ。

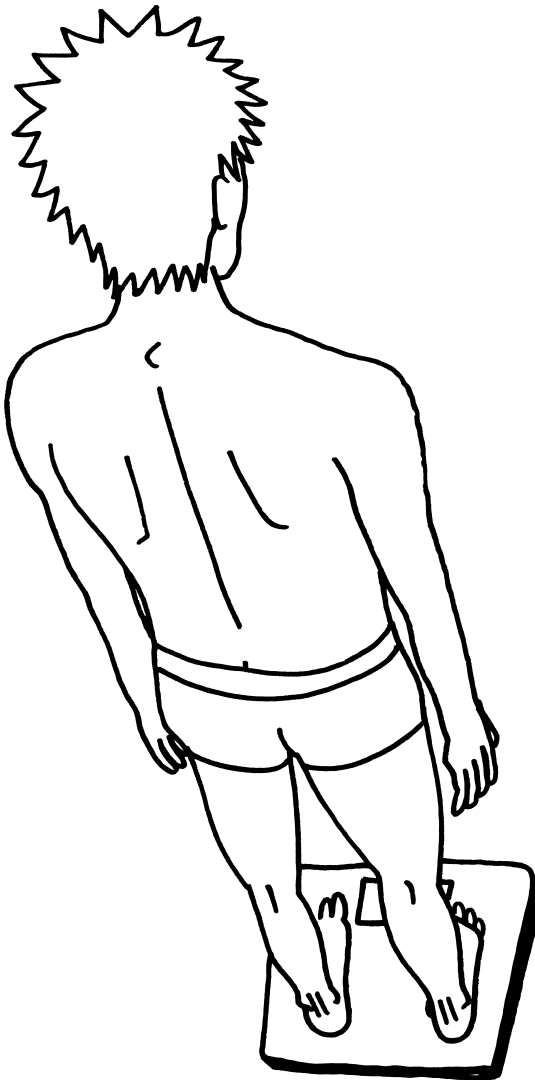
ただ、気をつけなければいけないのは人はいつまでも美少年タイプではないられないということ。かわいい自分に執着するあまり、年齢を重ねても若い人のファッションを追いかけているのはとてもちぐはぐだ。そんな時は少しずつ大人の要素も取り入れて、かわいいおじさんになるよう「売り方」を考えよう。髪が薄くなってきたらベリーショートにしてめざせブルース・ウィルス！ 自分では納得いかなくても、ぜったいそれを良いという層もいるんだから安心しなさい。

でもそれよりも心の平穩、というか「こうでありたい自分」に執着するのならどうしたらいいか？ これはもう、徹底的に自分を変えるよう努力を積

み重ねていくのだ！ ゲイ雑誌を見てもてる人はどんな感じなのかを研究してみる。太っていてイヤならジムに通う。ジムに通うというと「ヤセる、マッチョになる」という印象があるか

と思うけど、ヤせている人は筋肉がついてがっしりしてくるし、筋肉をつけたくない人はエアロビクスエクササイズのように筋肉も脂肪も燃焼するプログラムもある。それに誰でも健康的

に見えるようになる。健康でいきいきしている容姿は、体型以前にすごく大切なモテる要素だと思うんだけど。「不健康そうな人がいい」という話は、まず聞いたことがないしね。とにかく



自分のなりたい身体のために知識を得て、努力を積み重ねて、自分の身体をデザインしていこう。

ジム通いには、たくさんゲイと出会えるというオマケもつく。ゲイはジムに通っている比率がすごく高いし、付き合っている人とはジムで出会ったなんて話もよく聞く。素敵な人と出会えるかも、とかシャワールームで裸が見られる、なんて不純な動機でもしつかり通える要素になるのならないんじゃない？ 色々な人に不純な気持ちで見られることは頑張ろうという意志も支えてくれるしね。

何より努力を重ねていくと、それは自信につながっていく。自信は、その人を何倍にも輝かせて、ずっと魅力的にしてくれるはず。自信を持てるか持てないかでゲイライフが幸せになるかそうでないか分かれるといっても良いくらい、それは大切なものだ。フィットネスにはげんで、素敵な肉体と自信を手に入れてね！

社会人としてのゲイ

物書き
東京都公認大道芸女装
(ドラッグクイーン)
森村明生
Akio Morimura

会

「社」はあくまでも「仕事をする場所」です。クラブやバーで多くの崇拜者にか

しずかれるような人であろうと、「身体は男でも、オネエの意地にかけて、重いものなんて持てないわっ」という人であろうと、ひとたび出社すれば、タダの歯車。「ビジネス」の論理の前に「セクシュアリティ」など何の関係もないのです。しかし一方で、会社は平日の、実に三分の一以上の時間を過ごす場所であり、そこには自ずと、密な人間関係が生まれます。同僚や取

引先との「より円滑なコミュニケーション」のために、プライベートな情報の開示が必要になることもあり、また、「女も男も結婚してこそ一人前である」という価値観が根強く残っている会社も、いまだにあるようです。そういった状況の中で、「ゲイ」は一体どのように身を処してゆけばよいのか。この項ではそれを、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

まず「どのような職場を選ぶか」ですが……。「同性が好きである」ことを自覚し、それに基づいた人生を考えている（異性と結婚しない）など、ゲイの中には、「職場の雰囲気自由で、プライベートに干渉されないこと」を重視して仕事を選ぶ人もいます。そのような会社・業種の例としては、マスコミやIT・コンピュータ業界、外資系企業（かなり大雑把ですね。同業種でも、会社や職場によって全くカラーが異なるのは、言うまでもありません）などが、よく挙げられるようです。しかし「プライベートに関して、何も言

われない」職場は、往々にして実力主義的・個人主義的で、「単に忙しすぎて、他人のことにかまっていられないだけ」であったり、あまりにもコミュニケーションがなくて淋しかったりしますから、注意が必要です。

一方で、「自分のセクシュアリティに忠実に生きる」よりも「自分がやりたい仕事内容」などを重視した結果、「結婚しろ」「家庭を持って」といった周囲からのプレッシャーが特にキツイ業界を選ぶ人もいます。もちろんそれも一つの生き方ですが、この場合、相当強固な意志と、高度な演技力が必要です。就職・転職の際には、自分の能力やキャリアアッププランとあわせて、自分がどう生きたいのか、自分が一番大切にしたいものは何なのかをよく考えて、仕事や職場を選ぶようにしましょう。

会社生活において、ゲイの多くが「ええい、うっとおしいっ」と思うのは、やはり職場の同僚や取引先に「恋人いるの？」としつこく聞かれたり「やっ

ばりきア、人間、結婚して子供作ってナンボだよね」などと説教されたりした時でしょう。カムアウトしていれば「最近、男日照りでねエ……」と余裕たつぷりに答えれば済みますが、そうでない場合は「同性を異性にすりかえて話す」「忙しくてそれだけじゃない、と答える」など、さまざま工夫が必要です。いずれにせよ、「世の中にはいろんな人がいるのだ」「相手にとって、それは口癖のようなものなのだ」と考え、いちいちまともに対応しない方が賢明かと思われまます。

また、あまりにも女つ気がなかったり、言動の端々に女性っぽさがにじみ出てしまったりすると、「ゲイなのではないか」という噂が立つことがあります。その場合は「事実だから、別に構わない」「悪いことはしてない」と聞き直り、(カムアウトしないまでも)9割方全開にしてしまおうのも一興です。へたに隠そうとするから相手も喜ぶのです。「あいつは、ああいう奴なんだ」と、とつとと認識させてしまいましょ

う。

以上、「ゲイ」でありながら「社会人」として働く上でポイントとなりそうないくつかのことがらについて、説明してまいりました。

現在の日本社会においては、「ゲイ」であったり「結婚をしない」生き方を選択することによって、不利益を被ることもありませんが、一方でそれが、メリットとなることもあります。「終身雇用制度」が少しずつ崩れ始め、何が起ころかわからない昨今、「とりあえず自分一人が食えればいい」と思えるのは一種の強みでもありますが、「自由な立場」にあるからこそ、うまく「企業」と距離をとりながら生きること也有可能なのです。「ゲイ」であることも能力等と同様、自分に与えられた条件の一つであると考え、有効に活用しながら生きていきたいものです



写真/佐藤智砂

ゲイの老後 はたして悲惨なのか？

社会学者
小倉康嗣

Yasutsugu Ogura

ゲ

イの老後「*1」。ゲイ
ライフを考えると、一番
のネックとなってきたテー

マです。「ハッピー・ゲイライフといっ
たって、このまま結婚せずに子どもも
できないと、誰にも世話されず、看
取られず死んでいくことになるんじや
ないの？ そんなのは寂しいし、惨め
だし、つらすぎるよー」こんな言葉
をよく耳にします。結婚せず子ども
のいないゲイの老後は孤独で寂しい、
だからゲイライフの行く末は悲惨だ、
という悲痛な叫びです。しかし、はた

してそれは本当でしょうか？

この悲痛な叫びの背後には「結婚
し家族さえ持てば、幸せな老後が過
ごせる」というお決まりの前提があり
ます。でも、この前提にごまかされて
はいけません。なぜなら、社会の高
齢化が進めば進むほど、逆にこの前
提があやしくなってきたという実情があ
るからです。

日本は高齢者の自殺率が比較的高
い国ですが、その中身をみてみると、
家族と同居している高齢者の自殺率
の方が、一人暮らしの高齢者の自殺率
よりも高いのです。これは、家族に囲
まれていても、そこに自分の居場所が
ないと感じる高齢者が少なからずい
るということなのです。なぜでしょうか？
じつは、これまで異性愛社会の中
で「定番」とされてきた家族のかた
ちは、人生前半を中心に組み立てら
れたものなのです。つまり、父親（夫）
と母親（妻）がそれぞれの役割「*2」
を持って、子どもを産み育てるための
家族。しかし、そこに長い老後の居場

所はありません。高齢者が子ども家
族と同居したとしても、肩身のせまい
思いをすることは必至です。そんなと
き、友達もおらず、家族の中だけに
居場所をつくってきた高齢者は、耐
えがたい孤独を感じることでしょう。
家族と同居している高齢者の自殺率
の高さは、こういったこれまで「定番」
とされてきた家族のあり方の限界を
物語っています。

夫婦関係にしても、このような「定
番」家族の役割割関係では、老後を
含めた人生後半をやつていけないとい
う状況があるようです。子どもが仕
上がり、夫が定年退職すると、夫婦
をつなぎとめていた性役割はなくなっ
てしまいます。そういった状況の中で
関係を続けていくには、性役割では
ない、自前の関係（パートナーシップ）
をつくっていかなければなりません。
これは老後になって急にできることで
はないですし、そうとう大変なことデ
す。事実、二十年以上上連れ添った熟
年夫婦の離婚件数は、ここ三十年た

らずで十倍以上にも増加しています。

これらの事実が意味していることは
大きいと思います。結婚し、バリバリ
働いて家族を養い、子を産み育て、そ
れらが仕上がったあとはまもなくあの
世からお迎えが来る——このような
右肩上がりの人生五十年時代につく
られた異性愛者の「定番」の人生の
筋書きが、高齢社会の現在となって
は立ち行かなくなっていることを
あらわしているからです。

実際、人生八十年時代のいま、少
子化も進み、子を「かすがい」として
家族関係を築く期間や、一家の大黒
柱（バリバリ働き、家族を養う）といっ
た性役割を生きる期間は、人生のわ
ずか四分の一にまで縮小しています。

さらにこのことは、「人間は何のため
に生きていくのか」といった根源的
な問いでさえも再考を迫ります。こ
ういった問いを投げかけたときに異性
愛社会からお決まりのように返って
くる「子孫を残す」という常套句も、「結
婚して子を産み育ててこそ人間とし

て一人前であり、それこそが人生の上
がり（ゴール）だ」というゲイにとっ
て足かせとなってきた大義名分も、子
どもが巣立ったあとと長い後半生を
支えることはできないのですから。

そうなっていると、ゲイであろうが
異性愛者であろうが、これまで「定番」
とされてきた家族の筋書きや性役割
の筋書きにとらわれず、一人の人間（シ
ングル）として、いかに自前の生き方
や人間関係をつくっていくかという課
題が共有されてきている、といってい
いでしよう。生き方のモデルがないと
いう意味では、ゲイも異性愛者も同
じ課題に直面しているのが高齢社会
である、といえるのです。

とすれば、ゲイライフは積極的な
意味あいを持つてきます。ゲイがゲイ
として生きていくとすると、これ
まで述べたような「定番」とされた
生き方の枠外で（つまりシングルとし
て）生きていくかという試行錯誤を
もう人生の早い時期からやらざるを
えません。家族関係以外のつながり（た

とえば友人ネットワーク）だつて意識的
につくらざるをえません。

そうです。高齢社会においては、こ
のことが逆に強みになるのです。家族
内での関係と職場内での関係だけに
閉ざされない多様な人的ネットワー
ク、結婚（性役割）という型にはまら
ない自前のパートナーシップ、そして
孤独を充実させながら心豊かに生き
る術。ゲイライフは高齢社会を生き
ていくうえで多くの持ち駒を持って
います。なによりも、「定番」とされ
た生き方に乗つかれない／乗つからな
いことによる、世間との格闘の経験、
自前の生き方を切り拓いていく試行
錯誤の経験、そして生活の工夫の知
恵が、生き方のモデルなき高齢社会
を生き抜いていくうえで大きな力に
なるでしょう[*3]。そう、「定番」に
乗つかれない／乗つからないからこそ、
思うぞんぶん模索ができるのです。
そう考えると、ゲイの老後は悲惨
どころか、いろんな可能性に満ちてい
る！とさえいえるでしょう。そういつ

たゲイライフの「うまみ」を活かして
コミュニティをつくっていったなら、
ゲイが高齢社会をリードすること
だつてできるかもしれません。

高齢社会とは、これまでの「定番」
の人生の筋書きを固めていたいろんな
鏝よこがはぎ取られて、絆（人と人とのつ
ながり）とは何か、孤独とは何か、そ
して人間がよりよく生きるとはどう
いうことなのか、といったことが、そ
の根本から問い直されてくる社会で
す。と同時に、これらの問題にごまか
さずに向き合っていけば、そこからと
ても豊かな新しい生き方や絆が切り
拓かれていく可能性を持った社会で
す。壮大な生き方の実験を、一人ひと
りが日常生活の中でやっていかなけれ
ばならない時代。そんな時代に、ゲ
イライフを活かさない手はないでしょ
う[*4]。

「*1」ここではひとまず、男性同性愛者を
想定して話を進めます。しかし、こ
こで述べることは、他の性的マイノ

リティやシングルたちと、その多く
を共有できるものであると思います。
[*2]労働力としてバリバリ働き一家の大
黒柱として家族を養う父（夫）／そ
んな夫を支えるべく家事にはげみ次
世代の労働力たる子どもを産み育て
る母（妻）、といった性別役割分業
のことです。

「*3」実際、欧米では、ゲイが人生の早い
時期から自分の居場所をつくるため
の葛藤を経験しているために試行錯
誤に熟達しており、さらに伝統的な
性役割に対して柔軟であるがゆえに、
役割を失ったことによる老後の寂し
さや心の行き場のなさにもうまく対応
できると指摘する調査研究が多くあ
ります。

「*4」ここに書ききれなかったことがたく
さんあります。拙稿「ゲイの老後は
悲惨か？——再帰的近代としての
高齢化社会とゲイのエイジング」（伏
見憲明編『クイア・ジャパン5 夢
見る老後！』勁草書房所収）でさら
に掘り下げた議論をおこなっている
ので、参照していただければ幸いです。